

第26号

会報 こほく

滋賀県レイカディア大学同窓会湖北支部 発行責任者 大塚忠夫 編集責任者 中嶋 清

平成28年度

大学祭開催される

今年も県立文化産業交流会館のイベントホールとロビーで7月20日から22日の三日間大学祭が盛大に開催され延べ550余名が来場されました。今回も同窓会湖北支部を通じて出展をお願いした処、会員、卒業生の皆様より、絵画14点、写真1点、手芸(工芸含)6点、園芸4点、書2点他多くの力作、宝物を出展いただきました。ありがとうございました。



出品展示会場整理、イベント出品展示会場整理イベントに協力して下さった卒業生、サポート隊の方々ありがとうございました。在校生の学習成果発表も盛りだくさんあり、卒業生の地域活動も発表されました。体験コーナー、紙芝居、お楽しみコーナーや演芸(出し物)もあり充実した大学祭でした。来年の大学祭未向けて出品する作品つくり励んでください。見学にも行きましょう。



米原校の新生について
レイカディア大学米原校の事務局を訪問して第39期生の応募状況をお聞きしました。第39期新生の募集が行われましたが入学希望者が大幅に定員に達しない為に第二次募集をされたとの事でした。第一次募集では園芸学科は定員30名に対して入学希望者が18名でした、例年園芸学科は定員に達するのですがとの事務局のお話でした、北近江文化学科も定員20名に対して入学希望者が7名しか応募がありませんでした、健康づくり学科についても定員20名に対して10名しか応募者がありませんでしたとの事です。第二次募集でどれだけ応募者があるか疑問です。過去にも米原校の新生が少くない為に在校生や卒業生が新生の募集に協力したことがあります。今年の状況では今後の米原校の存続の為に在校生・卒業生が一丸となって定年退職者など入学対象者に対して積極的な入学勧誘する事が必要になっていきます。特に湖北支部管内の新生が少なくなっています。レイカディア大学の建学の理念である地域活動のリーダー養成の為に協力しようではありませんか。

たのしくあそぼう グラウンドゴルフ 湖北支部秋季 G G 大会

10 月 12 日開催 於草野川河川敷

四支部親善 G G 大会

10 月 19 日開催 於日野川 GG 場

体育部より

今秋の G G 大会

開催のご案内

十月十二日(水)

湖北支部秋季 G G 大会

場所 浅井草野川河川敷

時間 8 時から 12 時

雨天の場合翌日十三日

十月十九日(水)

四支部親善 G G 大会

場所 日野川 G G 場

近江八幡市野村町

時間 9 時から 11 時 30 分

いずれの大会も同窓会会員ならどなたでも参加できます
人数に制限はありません。

スポーツの秋、誰でもできる
グラウンド・ゴルフ

健康増進と会員相互の親睦の
ため是非ご参加ください。

初心者大歓迎！案内は先日お
届けいたしました。



地域活動調査について

レイカディア大学同窓会本部から各支部における地域活動の現状把握及び今後の活動計画について調査依頼がありました、ご記入の上地区担当幹事まで提出願います。

この調査を通じて各支部の現状を理解し、支部内及び支部を跨つての情報の共有による水平展開及び同窓会としての新たな地域活動に繋げるきっかけにすると同時に、対外に向けての同窓会活動の紹介に役立てることを目指しています。

① 支部同総会としての地域活動

② 同総会会員の地域活動

③ 今後同総会としての地域活動

会報「こほく」で今後湖北支部内の地域活動事例の紹介を継続して行いますので原稿の協力をお願いいたします。

調査が纏りましたら皆様方へお知らせすることも計画する予定です。

生年月日の調査について

湖北支部会員で三十一期以前卒業の会員の生年月日が把握できていません、寿会員の認定(八十八歳以上は会費免除)や各種行事で必要になりますのでご協力ください。

地域事例会 地 表 発

恒例の地域活動事例発表会が今年も11月14日(月)9時から16時まで近江八幡ひまわり館ホールで開催されます。

湖北支部からは近藤光博様が「ひらたね柿の後継者がいない畑の維持管理ボランティア活動」について発表されます。各支部からの発表もありますので多数に皆様方の聴講をお願いいたします。

地域づくり
市地
原市
米原
支援
や支
浜市
協議
会創
造参
加し
よう

過疎化、少子高齢化、コミュニティの希薄化などが進み、自治会の枠を越えた地域課題がますます多様化・複雑化していく中で、行政が画一的な手法で全市民を対象に取り組む事には限界があります。

地域活動の記事を投稿

地域の身近な課題については、地域住民が主体となって取り組み(共助)、地域と行政がともに力を合わせて取り組む(公助)ことによって、課題解決が図られるとの考えから、長浜市では市内全域に地域づくり協議会があり、米原市には地域創造支援事業制度があり、それぞれ地域に合った事業を進めていることをご承知のことと思います。



レイカディア大学卒業後に地域活動をされている会員の活動を毎号継続して掲載したいと考えています。皆様方から積極的な投稿をお待ちいたしております。今後卒業する後輩の為に活動内容の紹介をして新たに紹介していただけるものと考えております。

日帰り研修旅行のご案内

レイ大同窓会湖北支部

会員相互の交流を楽しく！

大安禅寺生き生き法話、座禅体験と東尋坊

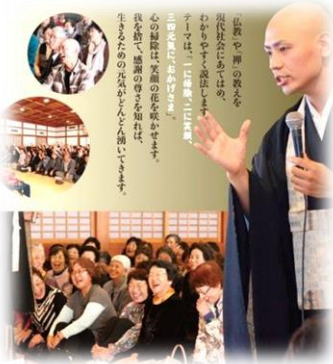
☆第 37 期生の同窓会ご入会を歓迎します☆

☆第 37 期生のご卒業を祝し、会員の交流をはかりましょう☆



実施日	平成 28 年 10 月 27 日(水)
参加料	10,000 円
募集人員	45 名
申込締切	9 月 30 日(金)

米原文化産業交流会館前→長浜豊公園→長浜市役所北部振興局（木之本）→木之本 IC
 7 : 30 出発 8 : 00 出発 8 : 30 出発
 <北陸自動車道>→福井北 IC→大安禅寺（座禅体験、大安玄峰和尚の生き生き法話）→
 10 : 15 / 10:30 ~ 11:45 頃
 東尋坊（昼食と散策）→金津 IC<北陸道>→敦賀 IC→日本海おさかな街（お買い物）→
 12:30 ~ 14:00 15:45 ~ 16:30
 <R 8 >長浜市役所北部振興局（木之本）→長浜豊公園→米原文化産業交流会館前
 17:15 頃 17:45 頃 18:15 頃



私教の教えを
 伝授されたのは、
 わりずかしの法話
 でした。これこそが
 「生き生き法話」の
 心髄です。笑顔を
 持ち、感謝の心を
 持つのが生き生き法話
 の心髄です。生き
 生き法話の心髄は、
 生き生き法話の心髄
 であり、生き生き法話
 の心髄です。生き
 生き法話の心髄は、
 生き生き法話の心髄
 であり、生き生き法話
 の心髄です。生き
 生き法話の心髄は、
 生き生き法話の心髄
 であり、生き生き法話
 の心髄です。生き
 生き法話の心髄は、
 生き生き法話の心髄
 であり、生き生き法話
 の心髄です。

新命和尚の生き生き法話
 「笑う」って、心を「洗う」
 ことです。「仏教」や「禅」の
 教えを現代社会にあてはめ、
 わかりやすく説法されます。
 テーマは「一に掃除、二に笑
 顔、三四元気に、おかげさま」
 心の掃除は、笑顔の花を咲か
 せます。我を捨て、感謝の尊
 さを知れば、生きるための元
 気がどんどん湧いてきます。
 皆さん一緒に聴きに行きま
 しょう。

福井の大安禅寺は臨済宗妙心
 寺派の寺院です。
 「一法一笑」聞くだけでなく
 体に効く法話。「座禅三昧」呼
 吸を整え、姿勢を正す、自然
 に恵まれた環境の中で日々の
 喧騒から離れ、自分を見つめ
 直す時を過ごす事が出来る特
 徴ある寺院です。

大安禅寺の紹介



三十七期生 祝ご卒業

園芸学科

- 池野 勝乃
- 泉 憲
- 奥澤 富恵
- 塩 志津枝
- 宮川 好由
- 三宅 豊
- 三和 直矢
- 北近江文化学科
- 奥長 裕幸
- 高橋 勘太郎
- 藤岡 哲夫
- 健康づくり学科
- 高木 富子

三十七期生は園芸学科27名の卒業生の中、湖北支部管内は7名、北近江文化学科は15名の卒業生の中、湖北支部管内は3名、健康づくり学科は10名の卒業生中湖北支部管内は1名です。

サポート隊長に聞く

第35期園芸学科卒
久保田 幸雄

「サポート隊長って何？」と思われる方もおられるかもしれません。サポート隊長はレイカディア大学の廃校が決定された時にそれを阻止する為に、学校の運営サポートする目的で設立されたレイカディア大学は廃校を免れ今日に至っています。このような設立の経緯からサポート隊長の活動の目的は在校生への学業支援と、在校生や卒業生や地域の皆様との交流行事を通じて橋渡しをすることです。

そしてこの目的を達成する為の実行部隊として七つのグループ(部会)があり、隊員はそのいずれかに所属してサポート隊活動を行います。いろんな事業を決定する場として調整会議があります。会議は、サポート隊の役員・同窓会代表・在校生代表・大学事務局で構成されます。主体となるのはサポート隊です。本年度は隊員71名でスタートしました。途中で大塚支部長に入っていました。

久保田 幸雄

確保しておきたいという不純な動機からでした。一年目は園芸学科部会に所属致しました。この部会は園芸学科生の校外学習の時、講師の補助で剪定作業などを行います。これは、庭木の管理をもう一度学び直せる良い機会ともなり楽しい時間を過ごさせていただきました。ところが二年目にいきなり隊長をやれと言われ、断り切れずに隊長にされたしまいました。当初は不安な事ばかりでしたが、隊員に方々に支えられてここまでやって来る事が出来ました。今では良い経験させていたのだと思います。

私は卒業時に同窓会とサポート隊に違いについてよくわかっていませんでした。今では判っています。レイカディア大学を良くすると言う事に対して、行動が異なるかもしませんが目的は同じだと思っています。

今年度の(39期)の米原校の入学予定者は42名と漸減傾向にあります。どうか皆様、大学がより魅力的なものになるよう、そして入学者が増加するようにサポート隊をよろしくお願いします。

世話する楽しみ 食べる楽しみ

ミニトマトづくり

今年も宅地内のプランター二個にミニトマト栽培をしている。朝起きたら一番に水をやり、摘心、わき芽を取りその成長を楽しみ、花が付き、身が少しづつ大きくなり色づいてくる、もう少しで食べられるかな.....スーパー等店先には沢山のトマトを売ってるが家族二人には自家栽培のトマトで充分だ、新鮮なトマトが朝の食卓を飾り、美味しく食して満足する。

余呉町では猪、鹿、猿、鳥等が田畑の出没し農作物を食べ荒らす。柵を作り網を覆い色々策を講じるが、敵もさるもの隙あればと上手に収穫期を狙って来る。彼らも命懸け子供の為と考えれば共に共存できる方法も考える時期ではないだろうか。余呉町川並在住

第24期生活科学科

桐畑 実

研修部

今年も秋(11月頃)に地域探訪を計画する予定です、詳細が決まりましたらご案内いたしますので、多数の皆様ご参加ください。

訃報

謹んで哀悼の意を表し
心からご冥福を
お祈り申し上げます

6期 陶芸学科

北村 春 江様

平成28年5月10日逝去

22期 陶芸学科

田中 孟様

平成28年8月17日逝去

訃報の連絡 知らせて下さい!

誰が、何時、どこで
大塚まで

☎0749-62-5440

編集後記

第25号でお知らせした訃報の連絡先の電話番号が間違っていました。お詫びします。

坂田西学区の地区担当幹事が北村喜代嗣様に替わられましたのでお知らせします。